

総合科学技術・イノベーション会議 重要課題専門調査会
新産業戦略協議会 プレゼン資料

「ものづくり企業の現状と課題検討について」



場所：内閣府

日時：2016年1月12日（火）



構成員：東成エレクトロビーム株式会社 代表取締役会長 上野 保



1. ものづくり企業の現状(1)

ものづくり中小企業の動向

- **中国減速で発注企業から引合減少**
- **受注が減少して、赤字企業が増加中**
- **中古機械を新規購入や更新して生産性向上困難**
- **工作機械の販売が前年比マイナス**
- **地銀、信金の預貸率(貸付金／預貯金)は大幅減少**
- **政策金融(日本公庫、商工中金)の設備資金貸出減少**
- **首都圏のみ再開発、中古建物、設備更新等でバブル景況(例外)**



2. ものづくり企業の現状(2)

発注側大企業の動向

- H24年度の超円高で生産・設備投資を海外シフト
- 円安効果等で利益大幅に増加(剰余金増大)
- 新興国のボリュームゾーンへ、設計・開発までシフト
- 車メーカー等は海外から部品調達推進
- 車メーカーは海外生産中の車部品を海外メガサプライヤーへ
- 円安効果でも国内回帰は一部のみ
- 国内マザー工場の機能弱体顕著



3. 課題と検討

- イノベーションの担い手の**ものづくり中小企業の役割**
- ものづくり中小企業の「ビジネス連携プラットフォーム」構築
- ロボットの活用や自動化技術で**生産性向上**
- **新規設備投資と中古機の改造や更新で生産性向上**
- プロジェクト型サポイン(委託型)の拡大
- 最先端加工技術である新しい**レーザー国プロ**の推進
- 新産業創出にも**ものづくり中小企業の「自社ブランド作り」**